

授業科目 介護実習指導Ⅲ

【担当教員名】	対象学年	2～4	対象学科	社会（介護）
岡田 史、大槻美智子	開講時期	2年後期～4年前期	必修・選択	介護福祉コース必修選択
宮下榮子 渡辺敏文	単位数	1	時間数	30

<一般目標：GIO>

実習ⅠⅡにおける学びを基盤として、介護実習Ⅲ・介護実習Ⅳにおける実習目的や課題を明確を図り、学習の統合化を図ると共に、介護福祉士としての福祉観を深める。

<行動目標：SBO>

- 1、介護専門職の役割理解を深める。
- 2、介護過程の必要性を理解し、個別援助計画を立案できる。
- 3、訪問介護の援助プロセス及び関連職種との連携について理解する。
- 4、訪問介護における介護課程を理解し、個別援助計画を立案できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション	演習：3年後期
2	介護実習Ⅰ・Ⅱを振り返り、介護実習Ⅲの計画を立てる（目標を明確にする）	演習：3年後期
3	事例を用いて介護過程について深く学ぶ	演習：3年後期
4	介護課程に沿ったモニタリングや記録の手法を再確認する。	演習：3年後期
5	介護課程に沿ったモニタリングや記録の手法を再確認する。	演習：3年後期
6	利用者の状況についてアセスメントレプレゼンテーションができる。	演習：3年後期
7	利用者の状況についてアセスメントレプレゼンテーションができる。	演習：3年後期
8	訪問介護の実際について、事例を通して学ぶ。	演習：4年前期
9	在宅生活者の状況について、事例を通して理解する。	演習：4年前期
10	在宅生活を維持するための、社会資源について理解できる。	演習：4年前期
11	訪問介護計画作成におけるアセスメントについて学ぶ。	演習：4年前期
12	訪問介護計画作成におけるアセスメントについて学ぶ。	演習：4年前期
13	訪問介護計画作成の手法について学ぶ。	演習：4年前期
14	訪問介護実習における目標を明らかにする。	演習：4年前期
15	訪問介護におけるモニタリングや記録について学ぶ。	演習：4年前期

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	4年前期：医歯薬出版株式会社「介護福祉士のための訪問介護」			
参考書	必要時推薦します。			
その他の資料	随時配布いたします。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席および授業態度 レポート	演習が中心なので、授業を聞くというのではなく、授業に参画するという気持ちで出席してください。